



新政みらい

質問者

あまの きいちろう
天野喜一郎議員

所属議員

おおつきたかし 議員
大月隆司
たぐちただよし 議員
田口忠義
おおもとますゆき 議員
大本益之



さらなる観光客増加を

議員 道の駅笠岡ベイファームを中心に観光客は増加傾向にある。さらに観光客を増やすため、空き家を活用した民泊施設等を整備し外国人観光客の誘致を促す政策は考えられないかたずねる。

市長 道の駅の来場者が市内へ循環すること、滞在時間が延び、日帰りから宿泊につながることで課題となっている。そのため、受け入れ態勢として宿泊施設の充実が重要な要素である。今後は、民泊施設の整備支援についても既存の宿泊施設との兼ね合い、民泊の形態や関係法令などを踏まえ検討する。

外国人観光客の誘致対策は、効果的なPRに努めるとともに、SNSの活用、せとうちDMOとの連携、井笠圏域・備後圏域・高梁

安全安心な地域づくりを

議員 今後の自主防災組織の育成について機能充実も含めどのような進めていくのかたずねる。

市長 防災資機材の充実整備に加え、防災士資格の取得支援等、組織のリーダーとなる人材の育成を図っていく。あわせて、地域や各団体が実施されている防災訓練、研修会等の地域に密着した訓練をさらに推進し、地域と協働、連携することにより自主防災活動を活性化させ、地域の実情に応じた防災力の強化を図っていく。



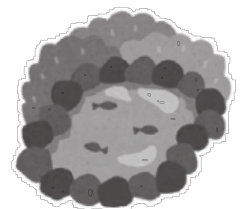
立真会

質問者

みたに わたる
三谷 渡議員

所属議員

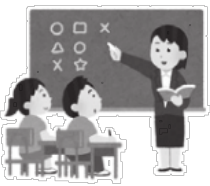
さかもと きみあき 議員
坂本公明
はらだ 議員
原田てつよ



小中一貫校の設立と学校規模適正化は

議員 小中一貫教育と一貫校の設立に向けた関係者の理解活動、またそのスケジュールをたずねる。

教育長 10月上旬に立ち上げる審議会において小中一貫教育をどう推進していくか協議いただく。その答申を踏まえ、教育効果がより高まるような小中一貫校の設置を検討し、計画を立て、保護者・地域・教職員へ理解活動を行う。審議会のメンバーは、有識者・教職員・保護者の皆さまのおよそ15名程度にお願いし、10月に第1回目の会を持つ予定である。今年度中に3回程度開催する予定である。



市内のため池の現状と維持管理は

議員 市内各地において、農業従事者の高齢化や担い手不足により、耕作放棄地の拡大とともに、ため池の日常管理が困難な状況である。ため池の現状と維持管理状況をたずねる。

建設部長 ため池は市内に1052か所あり、市の管理が386、個人の所有が666である。ハザードマップを2か所で作成している。耕作放棄のため池の管理として、受益者がおらず水が不要なため池であれば、災害防止のため、樋を抜くなど水位を下げていただくようお願いしている。ため池の廃止手続きは、水利権者全員の承諾が必要だが、全員の同意が難しい中でも、少なくとも水利組合として同意いただき、総会で諮る形を取っていただいている。